



校報 水糸者

No. 860

29年度・第33号

〈運動会シリーズ・最終号〉

赤もよくやった、白もよくやった

3つのわ (和・輪・笑) がいっぱい運動会

快晴の下、熱戦が繰り広げられた今年の運動会では、会場いっぱいの「輪」と「和」、「笑い」があふれる、140年にふさわしい良い運動会となりました。



おうちの人と仲良く手をつなぎゴール！

…輪と和、笑…



1年生の笑顔の始めのこぼれを笑顔で撮影する保護者の方々！



140個の玉入れの速さを真剣に競い合ったPTAの皆さん



低・中学年のノリノリのダンスに、中学生も一緒に踊り始めました。



6年生のチャンスレースでは、子どもたちのひょうきんな姿に笑顔の花が咲きました。

子ども達が全力を出し切り、達成感と充実感を味わった今年の大運動会。この日を成功させようと子どもと指導者は、時には笑い、時には泣き(?)、時には青色吐息(?)をつきながら、練習に励んで来ました。そこには「運動会の日だけでできればいい」といったような気持ちや「勝てばいい」という気持ちではなく、一層の『高みをめざし』ながら、切磋琢磨している個々の、集団の奮闘する姿がありました。裏面にその一部を紹介します。



種市小唄とお弁当の時にも、大きな輪と和、笑ができました！踊り指導の館石さん、ありがとうございました。



運動会成功の陰には、子ども達の熱い思いや願いもありました！

子ども達の思い



児童会室では、執行部の子ども達がテーマを考える等、作業を連日行っていました。今回の大成功はここから始まっていたのです。



「運動会練習で頑張ったこと、出来たことを書こう。」と、児童会執行部が提案したら、2週間で何と393もの記入がされました！みんなが真剣に頑張ったのです。



2週間の練習をしっかりと頑張る姿、練習中の教室の整頓された机、練習ではない時間に集中して勉強に取り組む姿…。子ども達がどんな思いで運動会練習を行い、運動会当日を迎えたのか、決意や意欲、覚悟、喜びなどが伝わってきます。疲れてもだらけず、メリハリある2週間を送りました。

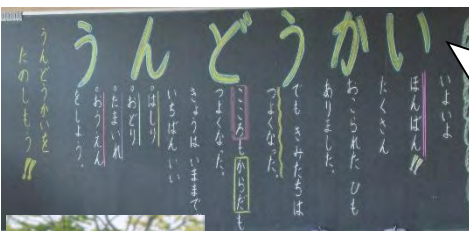


いつも通りに友達と仲良く登校して来る子ども達の姿や、図書委員会の子ども達がいつも通りに朝の読み聞かせを行っている姿から、素晴らしい運動会となる確信を持ってました。



指導者の思い

運動会成功の陰には、指導者の熱い思いや願いもありました！



運動会当日、ある教室の黒板には、子どもに向けた担任のメッセージがありました。楽しい時も苦しい時も心をつにし、励まし合いながらやって来た事が伝わってくるメッセージですね。おかげで運動会当日、最後の最後までしっかりと力を出し切った感動的な運動会となりました。



少ない練習回数を効率的に、しかも踊りの楽しさも教えようと、本校の大先輩でもある『地域の先生』が、種市小唄を熱心に教えてくださいました。

今まで苦楽を共にしてきた子ども達と、共に笑顔で楽しむ担任の姿。



140周年という節目の年の運動会の成功に向けて日々切磋琢磨を続けた子どもと指導者たち。何よりの成果は、子ども達が達成感・充足感を味わい生活意欲の高まりと士気の高揚が図られ、努力を惜しまず裏表のない健全な自尊心を持った子どもが育っている事です。子ども達が「成功したし、次もやりたい!」、「失敗したが、次もやりたい!」と感じる事ができた有意義な今回の運動会となりました。

今後とも本校の教育活動にご協力・ご支援をお願い申し上げます。

